

総合評価

(1) 総合判定

「ガイドラインに適合」	審査の結果、エコアクション21ガイドライン2017年版の要求事項に対して不適合が発見されませんでしたので、判定委員会に審査報告書(様式6)を送付し、認証・登録の継続を推薦します。 但し、一部に改善を要する事項がありました。これについては、次回審査の際に確認させていただきます。
--------------------	---

(2) 総合コメント

【判定理由】
今回審査では、代表者の交代がありましたが、適切に運用されていました。2件の改善事項がありましたが、不適合はありませんでした。経営と一体的に運用されていました。
【前回指摘の対応・是正】
<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連経費節減額を目標に設定して取り組むのも一案です。→今後の継続検討課題であることを確認しました。 ・エコアクション21の書類類を見直し、簡素化、シンプル化、入力の手間解消等を推奨→見直し・改善が進行中です。
【評価できる点】
<ul style="list-style-type: none"> ・代表者が交代となりましたが、新体制の元、適切に運用されています。 ・各部署においては「会社重点取組計画書」に基づき課題の解決・改善に向けた取組が行われ、これらが環境負荷の低減に繋がっており、経営と環境が同一線上にあることが確認できました。 ・環境経営レポートはSDGと関連付けられており、取組がSDGsのどこに関連するのかが分かるようになっていきます。 ・廃棄物の分別が徹底できていないという課題に対して、写真を使ったわかりやすい手順が掲示されており、分別が徹底されるようになっていきます。 ・本社工場の契約電力は330→326→290kWと下がっており、設備稼働の平準化が進んだ効果と思われます。 ・内部コミュニケーションツールとして導入した「direct」は有効に活用されており、部門間や取引先とのコミュニケーションの向上が図られています。 ・企画・設計から試作、製作、塗装まで一貫して自社でできる強みを活かして、自社製品やOEM生産で脱下請けが進展しています。
【特に優れた点】
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で売上が減少する中、作業や業務の見直しを行い効率生産と働き方改革を推進し、利益を確保できる体質に改善されています。また、客先訪問に制約がある中、オンライン面談やロッカーの通販、ホームページでの動画配信など工夫されています。
【改善への課題】
<p>今回の審査では改善事項が2件ありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルへの取り組み姿勢をアピールするためにも、環境経営レポートに2050年実質CO2ゼロを目指したロードマップを掲載することを推奨します。 ・環境関連書類の見直しに合わせて、部門で使用している「会社重点取組計画書」についてはSDGsや負荷低減項目と関連付けることを推奨します。
【ご提案】
<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルへの取り組みの手段としては、省エネ、創エネ(太陽光発電の自己消化)、再エネ電力の採用、クレジットによる相殺等があります。創エネではPPAモデルによる導入、再エネ電力の採用では徐々に比率を高めていく方法もありますので検討されては如何でしょうか？ ・塗装工程ではLPG、GHP空調では都市ガスを使用しています。LPG使用量は都市ガス使用量に比べ、熱量では約2倍ですが、料金は約5倍となっています。LPGを都市ガスに変更することも検討されては如何でしょうか？ ・一般廃棄物は分別が進んで排出量は減少しています。料金は減少量に見合ったものになっているかどうか検証されては如何でしょうか？

注：審査はサンプリング形式にて行われました。従いまして、確認していないことについて、全く不適合がないという意味ではありません。
また、法規制の遵守の取組は、組織の責任において行うものであり、エコアクション21認証・登録制度において保証を与えるものではありません。

本審査報告書にご署名の上、コピーを1部とり、保管して下さい。

別途、ご請求する審査費用のお支払いを確認後、審査報告書を担当事務局に送付します。

上記の審査結果を確認しました。

2021年12月3日(金)

署名(受審事業者の代表者):

仁 張 茂

署名(受審事業者の環境管理の責任者):

仁 張 茂